

まなびい 掲示板

子どもの未来を考える町民のつどい



- ▶日時 2月10日(土) 13時～16時
- ▶会場 総合センター2階 大集会室
- ▶内容
 - オープニング
保育園と児童館の年長児によるバイオリン演奏
 - 表彰
町特別表彰、教育表彰、三浦梧楼賞、読書感想文コンクール表彰、公民館図書多読賞
 - 実践発表（小屋瀬小PTA活動）
 - 中学生沖縄訪問研修発表
 - 講演
「子どもの見方、伸ばし方～発達障害から考える」
講師：盛岡大学短期大学部長 教授・心理学博士 嶋野 重行 氏
 - 抽選会 町の特産品が当たります
当日は、10時から総合センター1階で「本まつり」を開催。読み聞かせや映画会も行います。どなたでも自由に参加でき、保育士による一時預かりスペースもありますので、お問い合わせのうえご来場ください。
岡教育委員会 ☎66-2111 内線276

町民総合体育大会 江刈Aが2年連続総合優勝

第33回町民総合体育大会の後期競技（ネオホッケー）は1月21日、社会体育館で行われ、地区体育振興会対抗の熱い戦いが繰り広げられました。男子は北部地区、女子は江刈B地区がそれぞれ第1位となりました。なお、総合成績では江刈A地区が2年連続5回目の総合優勝に輝きました。

- ネオホッケー競技結果（氏名は敬称略）
男子の部 ①北部 ②西部 ③江刈B
【得点王】里見脩太郎（江刈A）7点
女子の部 ①江刈B ②江刈A ③西部
【得点王】千葉明美（西部）7点
- 総合成績
①江刈A 64点 ②中部A、西部 60点
④北部 56点 ⑤中部B 52点 ⑥江刈B 44点



白熱したネオホッケー男子決勝戦。北部VS西部



町文化協会（高澤安男会長・加盟22団体）主催の第1回芸能まつりは1月14日、葛巻小体育館で開催され、約350人が来場しました。同協会に加盟する9団体が14演目の発表を行い、子どもから大人まで幅広い年代の出演者が神楽や踊り、民謡やダンスなどを披露。訪れた人たちは、発表が終わるたびに大きな拍手を送っていました。高澤会長は「日頃の練習の成果を披露できる機会をつくりたいと思います。今回初めてこの事業を企画しました。出演団体はもちろん裏方を務めた団体も来場者に喜んでいただいたことで達成感を味わうことができました。開催にあたりご協力いただいた多くの方に感謝します」とあいさつしました。出演した「舞スマイルダンス教室」の元村心さん（小屋瀬中1年）は「今回の公演は、司会や運営スタッフとしても関わりました。時間をかけて準備を進めてきましたが、本番で予定変更などもあり、それもまたドキドキして楽しかったです。次の公演に向けてさらに練習を頑張りたいです」と感想を話してくれました。

町文化協会

第1回芸能まつり

芸能文化の発展と継承

小さな掛け金・大きな安心 スポーツ安全保険に加入しましょう

スポーツ安全保険は、誰もが安心してスポーツや文化などに参加できるようにするための保険です。万が一のけがや事故に備えて、スポーツ安全保険に加入しましょう。

- 加入できる団体
スポーツ・文化・レクリエーション・ボランティア・地域活動を行う4人以上の団体（スポーツ少年団、子供会、老人クラブなど）。
- 補償対象および補償内容
団体での活動中や団体活動への往復中における事故などの傷害保険、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険。
- 保険期間
平成30年4月1日午前0時から平成31年3月31日正午まで（4月1日以降の申し込みは、加入手続きの翌日午前0時から平成31年3月31日まで）

加入手続きの翌日午前0時から平成31年3月31日まで

- 掛け金
1人年額800円～11,000円
※掛け金は、団体の活動内容や年齢構成、保障内容に応じて異なります。詳しくは、(財)スポーツ安全協会のホームページでご確認ください。
- 加入手続き
社会体育館にある加入依頼書により手続きしてください。

☎NPO法人 町体育協会 ☎66-3607

江刈小学校をモデルに描かれた「わたしたちのカムシずかん」が2017年ジュンク堂盛岡店の児童書売上ランキング1位を獲得しました！



公民館図書室でも貸出中！

- ジュンク堂盛岡店の児童書売上ベスト3
- 1位:わたしたちのカムシずかん
- 2位:ハリポッターと呪いの子
- 3位:ざんねんないきもの事典

公民館 図書室から 本の紹介

- 開館時間：午前8時30分～午後7時
- 休館日：年末年始



『言い訳してる場合か！ 脱・もう遅いかも後群』 坂東 眞理子 作

50を過ぎたら人生下り坂と思っている女性は少なくないのでは。子離れ、仕事離れしても、人生はたくさんの可能性に満ちています。まずは一歩踏み出すこと。自分を見つめ直し、人生をライフシフト（生き方転換）するヒントが詰まった本書。心強いサポートになるはず。



『おらおらでひとりいぐも』 若竹 千佐子 作

74歳、ひとり暮らしの桃子さん。夫に死なれ、子どもとは疎遠。おらの今は、こわいものなし。リズムあふれる文体で新しい「老いの境地」を描いた感動作！著者は、遠野市生まれ。55歳から小説講座に通い始め、63歳でデビュー。第158回芥川賞受賞作品です。